

東海大学医学部附属八王子病院にて
2015～2025年の期間に血痰・喀血に対するカテーテル治療（気管支動脈塞栓術）を
受けた患者さんおよびそのご家族の方へ
生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部附属八王子病院では、上記の治療のために入院された患者さんの情報を使い、治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2015年1月1日～2025年12月31日の間に、当院呼吸器内科または画像診断科に入院し、血痰・喀血に対するカテーテル治療（気管支動脈塞栓術）を受けた方

研究課題名：血痰・喀血症例における気管支動脈塞栓術後再発リスクの検討

倫理審査番号：26R004

研究期間：【許可日】～2026年12月31日

26-615

【本研究の目的・意義】

本研究の目的は本施設での気管支動脈塞栓術の成功率、再発率、安全性について検討し、特に良好な成績を得ることを妨げられると思われる再発リスク因子を明らかにすることです。今後さらに再発リスクを減少させる方策を検討する上で有用な情報が得られることが期待されます。成果は学会・論文等で発表されます。

【使用する情報】

診療記録から以下の情報を収集します

- 年齢、性別、喫煙歴、身長、体重
- 病気の既往
- 服用していた薬の情報
- 血痰・喀血の持続期間と重症度
- 入院時あるいは気管支動脈塞栓術施行前のバイタルサイン
- 入院時あるいは気管支動脈塞栓術施行前の血液検査データ

- 気管支動脈塞栓術を行った日
- 気管支動脈塞栓術の方法
- 気管支動脈塞栓術の合併症
- 気管支動脈塞栓術施行後の血痰・喀血およびそれに対する医療行為の有無、再発日、治療内容

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

【情報の開示について】

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

【研究資金・利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

【研究組織】

研究機関名：東海大学医学部附属八王子病院

研究責任者所属・氏名：呼吸器内科 坂巻 文雄

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

【お問い合わせ先】

東海大学医学部附属八王子病院

電話：0463-93-1121（代表）

研究責任者（代表者）：呼吸器内科 坂巻 文雄

担当者：呼吸器内科 近藤 祐介

【更新履歴】

2026年4月1日 第1版